4－3 津吉地域

（1）地域の概況と課題

① 地域の概況

・平戸島南部に位置し、平戸都市計画区域の津吉地域として独立した都市計画区域です。

・平戸島の東岸と西岸を結ぶ(主)獅子津吉線および国道 383 号の沿道を中心とした地域です。

・西岸部は 2 級河川古田川と並行する国道 383 号および市道津吉中央線の両側に、住宅地や店舗などの生活サービス施設が立地しています。

・東岸部は前津吉漁港を取り囲み、漁業を基盤とする集落地が形成されています。

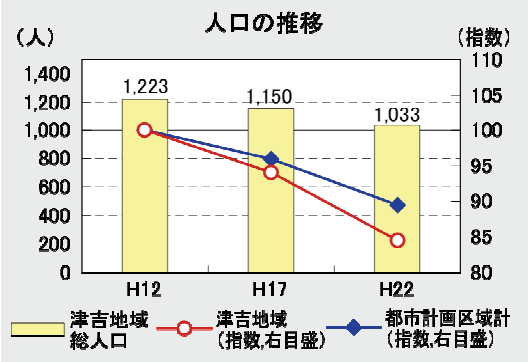
・西岸部と東岸部はなだらかな丘陵地を介して接続しています。

津吉地域の概況と特性図

② 人口特性

・平成 22 年人口は 1,033 人で平成 12 年から約 200 人（15.5%）減少しました。

・高齢化率は 34.8%で市の平均をやや上回ります。



③ 就業構造・産業特性

・第一次産業就業者が 20.4%、第二次産業が 17.2%で、市の平均に近い就業構造です。

・第二次第三次産業の事業所従業員数の構成を見ると、卸小売業の割合が高く、また製造業も平均に比べ高い割合を示しています。

・周辺地域への生活サービスを中心とした産業構成および食品加工等の製造業の立地が反映しています。

④ 土地利用特性

・自然的土地利用が 83.3%を占め、宅地利用は 8.6%で、農地山林等の割合が高い。

・前津吉漁港周辺および国道 383 号沿いに住宅、店舗などの集落地を形成しています。

⑤ 交通

・前津吉漁港と佐世保・相浦の間は一日 4 往復の高速船が運航されています。

・国道 383 号と(主)獅子津吉線が地域の幹線道路ですが、国道 383 号については歩道など未整備区間があり、(主)獅子津吉線については街灯が少なく歩行者に支障をきたしています。

⑥ 市街地整備・都市施設

・前津吉の漁港周辺集落や津吉の市道津吉中央線に密集市街地が分布しています。

・津吉地区には子どもが遊べる身近な公園が未整備です。

⑦ 地域懇談会のまとめ

・人口減少や高齢化、空き家の増加が目立ってきており、自治活動の維持が懸念される
・道路、公園（遊び場）、商店街、公共交通機関などの基礎的生活環境の整備・充実が求められている
・前津吉地区では台風、高潮、地すべりなどの災害に対する危機感が強い

⑧ アンケート

全体の印象	・市全体に比べ満足度が低く、居住意向も低い
不満度が高い項目	・医療、公共交通、児童施設、商業施設、公園
土地利用	（住宅地）店や働く場所が近くにある住宅地 （工業地）企業誘致の推進など （商業地）身近に買物ができる商業地 （農地山林）保全(37.2%)、減少もやむをえない(27.9%)
道路・公園・防災	・各地域を結ぶ幹線道路の整備 ・身近に利用できる公園、住民参加による公園づくりの計画 ・砂防、急傾斜地、河川、海岸の整備
まちづくり活動への参加	・高齢者支援、健康・スポーツ振興、自然環境保全や伝統芸能の保存

⑨ 基本的な都市づくりの課題

・市街地に比べ、日常生活（日用品の買物、医療、福祉、教育など）が生活環境の満足度を下げる要因となっており、地域での充足ができるような対応が必要です。
・人口の減少や高齢化を踏まえて、まとまりのある地域中心の形成を図ることによって、落ち着きとにぎわいのある地域づくりが考えられます。

① 一定の生活利便性を実現する生活の中心地づくり
② 生活環境の安全性確保と身近に利用できる公園の整備など暮らしやすさの向上
③ 災害時などにも通常と同様の通行が可能な他地域間との連絡網の確保

（2）都市づくりの基本方向

高齢者にやさしい暮らしやすいまち

津吉元地区に地域の中心の形成を図り、だれもが暮らしやすく住み続けることができる地域を目指します

（3）地域整備方針

① 土地利用の方針

・津吉地区の国道 383 号と市道津吉中央線を軸とした地区を、地域の中心として商業施設や公益施設の立地誘導と憩いの場の整備を図り、地域住民に親しまれる都市づくりを図ります。

・農地や山林については９割近くを占め、防災に配慮しながらその保全を図ります。

② 交通整備の方針

・他地域との円滑な連絡のため、国道 383 号のカーブの改良や部分的な拡幅などの整備を図ります。

・安全で快適な通学環境の形成のために、(主)獅子津吉線の改良を図ります。

・通院や通学をはじめとする市民生活を支えるため、公共交通（バス）の利便性向上を図ります。

③ 公園緑地整備の方針

・２ 級河川古田川周辺の河川機能を維持しながら、地域の水辺空間としての整備を図ります。

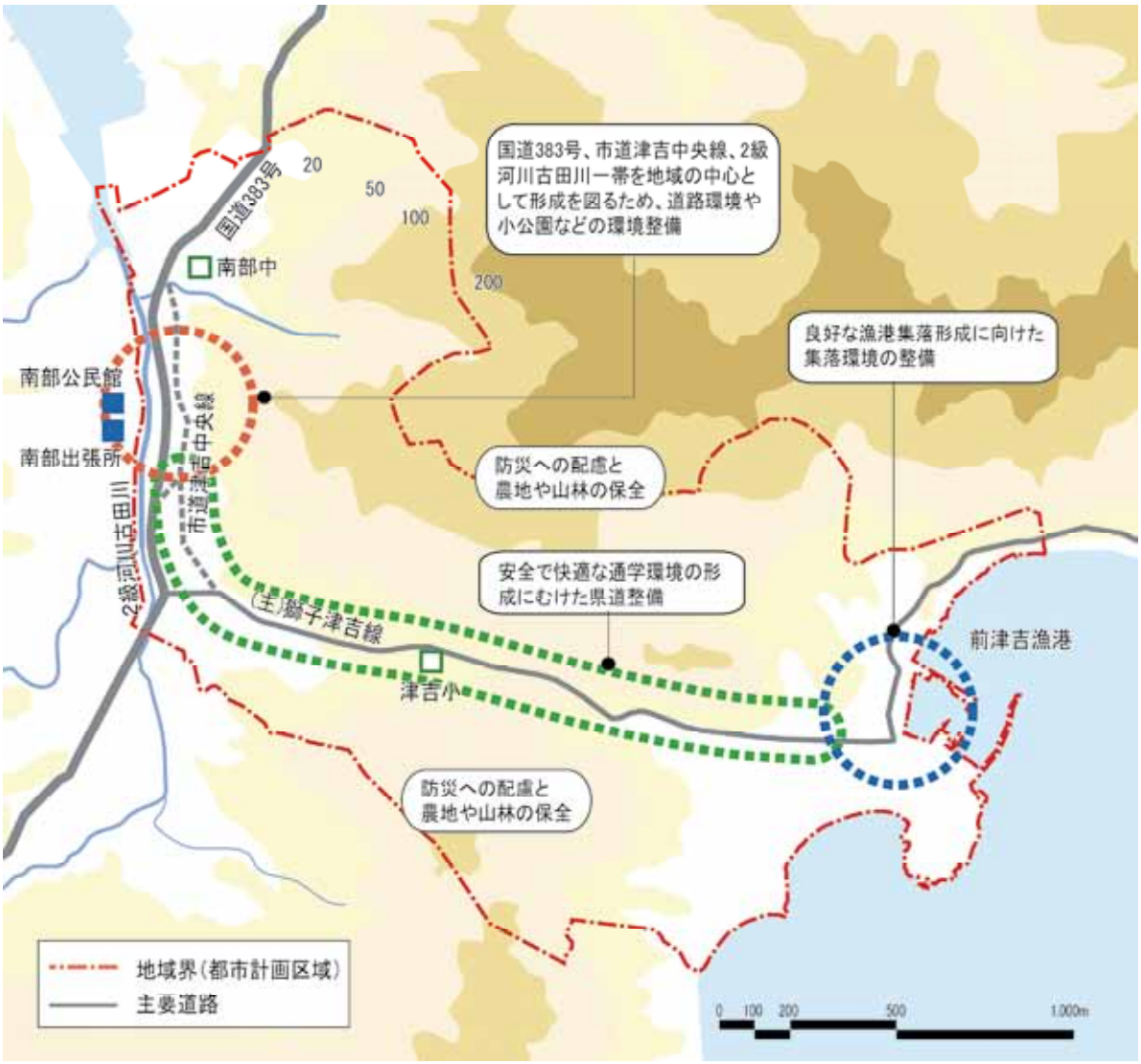
・未利用地や自然的土地利用などを活用して子どもの遊び場の確保を図ります。

④ 市街地整備・防災の方針

・市道津吉中央線について安全な道路環境、良好な街なみづくりに向けた整備を図ります。

・風水害、高潮、地すべりなどの災害に対してそれぞれ防災対策を行うとともに、避難場所や避難路等について地域住民とともにハザードマップの作成などを通して安全性の向上を図ります。

津吉地域整備構想図


国道383号、市道津吉中央線、2級河川古田川一帯を地域の中心として形成を図るため、道路環境や小公園などの環境整備
良好な漁港集落形成に向けた集落環境の整備
防災への配慮と農地や山林の保全
安全で快適な通学環境の形成にむけた県道整備
防災への配慮と農地や山林の保全
国道383号
20
50
100
200
南部中
南部公民館
南部出張所
2級河川古田川
市道津吉中央線
(主)獅子津吉線
津吉小
前津吉漁港
地域界(都市計画区域)
主要道路
0 100 200 500 1,000m

4－4 田平地域

（1）地域の概況と課題

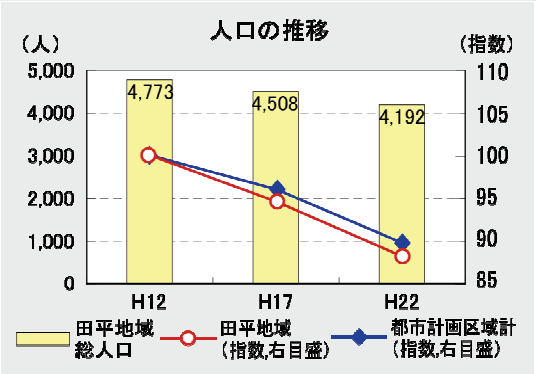
① 地域の概況

- 平戸島対岸の本土に位置し、田平都市計画区域が指定されています。
- 当地域を経由し佐世保市と松浦市を半円状に結ぶ、国道 204 号、松浦鉄道および平戸大橋で平戸島に至る国道 383 号が地域の交通幹線となっています。
- 松浦鉄道たびら平戸口駅から田平港に至る地区には住宅のほか店舗などの生活サービス施設が立地しています。
- 西九州自動車道に接続する（主）平戸田平線（田平工区）の改良工事が実施されています。

田平地域の概況と特性図

② 人口特性

- 平成 22 年人口は 4,192 人で平成 12 年から約 580 人（12.2%）減少しました。
- 高齢化率は 30.1%で平戸、田平の都市計画区域の平均に近似しています。



③ 就業構造・産業特性

・就業構造は第一次産業 7.9%、第二次産業 21.3%で、第一次産業の割合が市の平均よりも少なくなっています。

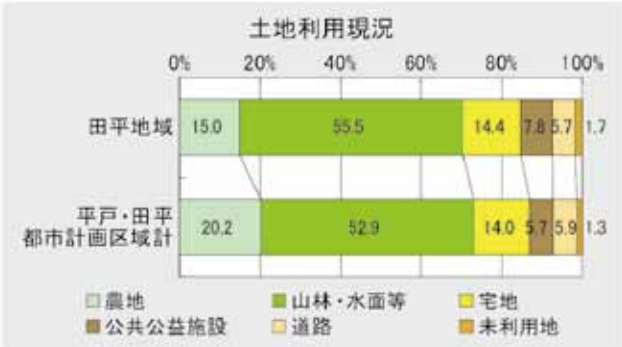
・第二次第三次産業の事業所従業員数の構成を見ると、医療サービスの割合が高く、地域内の複数の医療施設立地が反映しています。

・その他は都市計画区域の平均に近似しています。

④ 土地利用特性

・自然的土地利用は 70.5%で都市計画区域の平均よりも割合は少なくなっています。

・宅地は 14.4%、これに公共公益施設が 7.8%を占め、比較的都市的土地利用が多い地域です。



⑤ 交通

・国道 204 号および平戸大橋を経て平戸市街地に至る国道 383 号が地域の幹線となっており、これに(一)北松公園平戸口線、(一)以善田平港線、(一)田平港線が国道と周辺集落を結んでいます。

・松浦鉄道が本地域を経由していますが、通学客以外の利用者や観光客は減少傾向にあります。

⑥ 市街地整備・都市施設

・田平港に平戸瀬戸市場、魚市場が整備され、市民や観光客が集う新たな拠点、および水産物の集積の拠点として期待されています。

・たびら平戸口駅から田平港にかけての国道沿いに密集市街地が分布しています。

・田平公園が整備され、また北松県立公園によって良好な自然が保たれています。

⑦ 地域懇談会のまとめ

・交通利便性、豊かな自然、平戸瀬戸市場、充実した医療施設などから暮らしやすさを実感している

・平戸瀬戸市場からオランダ商館への観光船運行など交通機関を活用した新たな観光プランで活性化を図れないか

⑧ アンケート

全体の印象	・満足度、居住意向は市の平均に近い
不満度が高い項目	・商業施設、道路安全対策、災害対策
土地利用	（住宅地）安全でゆとりある住宅地 （工業地）企業誘致の推進など （商業地）身近な商業地 （農地山林）保全(36.2%)、減少はやむをえない(27.0%)
道路・公園・防災	・市街地内の狭い道路の改善 ・地域特性を活かした公園整備、既存公園のバリアフリー化、散策道の整備 ・密集市街地内道路の整備
まちづくり活動への参加	・高齢者が安心して暮らせるまちづくり、清掃や美化活動、特産品によるまちおこし

⑨ 基本的な都市づくりの課題

・本土に位置し佐世保市や松浦市に接する立地条件により、国道 204 号沿道を中心に商業施設等が立地していますが、通過交通をいかに引き止めて活性化につなげるかが課題です。

・田平港や松浦鉄道たびら平戸口駅周辺は、市街地化が進んでいますが、新たに平戸瀬戸市場を核とした都市づくりが必要です。

・(主)平戸田平線（田平工区）の建設および、関連した市道整備により土地利用構造の変化が予想されるため、適正な土地利用実現に向けた対応が必要です。

① 交通利便性を活かした地域活性化

② (主)平戸田平線（田平工区）の建設を踏まえた都市づくり

③ 生活環境の安全性の確保と暮らしやすさの向上

（2）都市づくりの基本方向

港のにぎわいのある自然と歴史が調和したまち

都市的利便性や自然、歴史の資源を活かしながら、変化を適切に受けとめる地域を目指します

（3）地域整備方針

① 土地利用の方針

・(主)平戸田平線（田平工区）の建設に伴い、周辺における土地利用の変化が想定されるため、適正な土地利用への誘導を図ります。

・土地利用の変化に対応するため、都市計画区域の拡大や特定用途制限地域の導入について検討を行います。

・田平港、たびら平戸口駅周辺の市街地については、平戸瀬戸市場や田平公園への来場者や市民が回遊できるよう、安全で快適な市街地空間の形成に向けた都市づくりを行います。

・丘陵部の山林や優良な農地については、都市的土地利用との調和を図りながら保全を図ります。

② 交通整備の方針

・(主)平戸田平線（田平工区）の県道関連道路や関連市道の整備などきめ細かい整備を図ります。

・安全で快適な市街地空間形成のため、国道 204 号の他、(一)北松公園平戸口線や(一)以善田平港線、(一)田平港線の改良を図るとともに、回遊性のある歩行空間の確保を図ります。

・通院や通学をはじめとする市民の生活行動を支えるため、公共交通（バス・鉄道）の利便性向上を図ります。

③ 公園緑地整備の方針

・北松県立公園から田平港、たびら平戸口駅周辺、田平公園、田平天主堂までを結ぶ地域において、案内表示や遊歩道整備、休憩施設整備などにより、田平地域の特色を活かした観光レクリエーションゾーンの形成を図ります。

・未利用地や自然的土地利用等を活用して子どもの遊び場の確保を図ります。

④ 市街地整備・防災の方針

・国道 204 号に沿った地域については、平戸瀬戸市場を中心として快適な都市づくりや安全性の向上を図ります。

・風水害、高潮、地すべりなどの災害に対してそれぞれ防災対策を行うとともに、避難場所や避難路等について地域住民とともにハザードマップの作成などを通して安全性の向上を図ります。

田平地域整備構想図

北松県立公園
中瀬草原キャンプ場
(一)北松公園平戸口線
農地や山林の保全
城山焼窯跡
是心寺のソテツ
海寺跡ノハクモクレン
ビロウ自生地
観光レクリエーションネットワークの整備
(一)田平港線
田平港
平戸瀬戸市場
たびら平戸口
田平港、たびら平戸口駅周辺の市街地について、安全で快適な市街地空間の形成に向けた都市づくり
20
40
60
農地や山林の保全
県道平戸田平線（田平工区）の建設に伴い、周辺における適正な土地利用への誘導
田平支所
里田原遺跡
国道383号
平戸大橋
田平北小
市道米の内線
国道204号
松浦鉄道
田平公園
北松県立公園
(一)田平港線
(主)平戸田平線（田平工区）
田平中
国道204号
西田平
広域農道
豊かな自然や歴史景観資源を生かした観光レクリエーションゾーンの形成
北松農高
100
地域界（都市計画区域）
都市公園
主要道路
田平教会
たびら昆虫自然園
田平天主堂周辺地区重点景観計画区域
0
250
500
1,000m